

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ススミダス（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～	2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～	2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して過ごせる環境であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントから始め、子どもの発達段階に合わせた環境設定を行っている</li> <li>・定期的な担当者会議を開催し、子どもの人権、特性理解を深められるようにしている</li> <li>・施設内清掃を外部委託するとともに、職員が清掃に取り組み清潔な環境を保持できるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数を増やし、子どもの発達段階に合わせた活動プログラムを提供する</li> <li>・子どもの人権に関する研修を計画し実施する</li> </ul>
2	職員が学べる場があること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回、専門職によるコンサルテーションを実施し、助言・指導を受けている</li> <li>・月に1回、身体拘束の適正化・虐待防止に関する研修を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職による子どもの発達や特性に関する研修を計画し実施する</li> </ul>
3	法人内に協体制があること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の成人施設、保育園といった各拠点と情報共有ができています</li> <li>・行事や突発的なことがあった時に各拠点に協力を仰ぐことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点にススミダスの行事、事故予防の取り組みを周知する</li> <li>・職員は各拠点の非常時訓練に参加しススミダスの訓練に活用する</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員で目標設定や振り返りの場に参加することが難しい	職員数は設置基準を満たしているが、子どもの利用時間が長く支援現場から職員を外すことは難しい。	職員全員が会議に参加できるよう会議開催の日にちを調整する 職員全員が交代で参加し、同じテーマで話せる場を複数回設ける
2	ススミダスで有効な手立てはあるが、家庭の中で役立つまでに至っていない	家庭の気づき、困り感は家庭ごとに異なる。各家庭の状況を把握し理解する力が弱い。	面談や連絡帳から得た情報をもとに各家庭の状況把握、理解を進める仕組み作り 日頃から保護者とコミュニケーションをとるよう心掛ける
3	非常時の対応	非常時のマニュアルはあるが、職員は内容の理解が浅い。	研修・訓練に計画的に取り組めるよう研修計画を作成し実施する。